



ホームページアドレス <http://www.fujinomiya-shizuoka.ed.jp/jh-school/03miya3>

富士宮市立富士宮第三中学校

平成 30 年 12 月 10 日 (月)

1 年 90 名 2 年 120 名 3 年 121 名

全校生徒数 331 名 PTA 会員数 303 名

樹々もすっかり葉を落とし、落葉が冷たい風に舞う光景は、まさしく師走到来を感じさせます。県学力診断調査も終了し、いよいよ 3 年生は本格的な進路実現に向けてのカレンダーがスタートします。2 学期を振り返って見ると、運動会から始まり、文化発表会、生徒総会など、様々な行事や体験を通して多くのことを学び、成功させる中で満足感や成就感を味わうことができました。それらの経験が生徒一人一人の自信につながることを願っています。

恩は着るもの

— 12 月 4 日全校集会 校長先生の話より —



恩について語る校長先生

先日、池間先生の命の講演会がありました。「私たちのできる最大のボランティアは一生懸命に生きること」とか、「感謝の反対は当たり前。あって当たり前

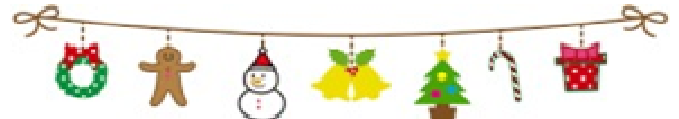
前してもらって当たり前だと思てはいけません。親や先生方、周りの人にしていただいたことに常に感謝をすること」という言葉が心に残りました。

次の日の日記に「昨日の講演ではドラマのようなことが実際に起きているんだな」と驚きました。コンビニに買い物に行ったとき『えい』と千円募金しました」なんてものもありました。

講演では、東南アジアの国々の子供たちが写し出されていましたが、日本でも今から 70 年ほど前、両親を亡くした戦災孤児がたくさんいました。その頃の実話について話をします。

すでに亡くなられた方ですが、小暮実千代(こぐれ みちよ)さんという、大女優がいました。この方は群馬県の孤児院「鐘の鳴る丘:少年の家」の後援会長になったり、中国人留学生を自宅に寄宿させたりと世の中のために大変貢献をされました。

小暮さんにはそのような活動をするきっかけがありました。小暮さんは、戦前御主人の仕事の関係で中国で生活をしていました。戦況が厳しくなり、いよいよ日本が負けそうだということで、混乱の中を日本に着の身着のまま帰ることになりました。ものすごい人混みの中で、自分がしっかり手を握っていたはずの我が子を見失ってしまったそうです。気が違ったように探したそうですが見つけ出すことができませんでした。周りの方がそのことを知り、皆さんで我が子を見つけ出



してくれたそうです。そのとき、この恩を決して忘れてはいけません。見つけてくださった方々に直接恩返しができない分は世の中に返そうと心に誓ったそうです。

そんな小暮さんが、終戦直後、有楽町のガード下で靴磨きをしていた 3 人の戦災孤児に、「寒いでしょう。さあ、これで何かあたたかいものでも食べなさい。靴は磨かなくてもいいのよ。体に気をつけてね」と言って百円札二枚(今のお金に換算すると 3 万円)を渡しました。そのとき、少し離れたところでその様子を見ていた靴磨きの親方が「お前たちにお金をくださった方は小暮実千代さんという女優さんだ。忘れるなよ。いただいたお金はお前たちで使いなさい」と言ったそうです。

その 3 人の少年が流れ流れて、小暮さんが運営する孤児院に引き取れたのです。3 人は小暮さんに「お母さん」と呼んでいいですかと慕い、生活が始まったのです。その後 3 人は苦学し 1 人がアメリカに渡り大学教授になり、1 人は医者になり、1 人は大会社の社長になりました。

小暮さんにしても、戦災孤児であった 3 人の方にしても、自分のためにがんばるというより、人様からいただいた恩を忘れず、恩を返そう、恩に報いよう、自分を支えてくれた人に喜んでもらえるように頑張ろうという気持ちが大きくなったと思います。

皆さんはいろいろなことに目標を掲げ頑張っています。特に 3 年生は今、自分の目標とする進路に向けて頑張っていることだと思います。そんなとき、自分を支えてくれた方へ恩返しをしよう、喜んでもらえるようになろうという恩をたっぷり着込んだ思いが、自分をも含めてよい



結果につながるのではないかと思います。

恩は着せるものではなく、自分が着るものです。たくさんの恩を着込んで、感謝の気持ちを片時も忘れない心豊かな生活を送ってください。

正しい歯のみがき方を学ぶ

— 歯の健康教室を開催しました —

11月12日、1年生を対象に歯の健康教室を行いました。講師に歯科衛生士の皆様を招き、正しい歯のみがき方や歯肉炎等について学びました。生徒からは「**歯の病気の予防法が分かり、とても役に立った。**」「1本の歯に20回手間をかけて歯磨きをするのは久しぶりだったので、**普段しっかり磨けていないことが分かった。**」「**歯ブラシの選び方も大切であることが分かった。**」などの声が聞かれました。

授業を受けた生徒たちは、改めて**歯の大切さ、歯磨きの重要性を実感**したようです。講師の皆様、ありがとうございました。



心温まるお話

— 家庭の教育力に感謝します —

11月14日、学校にとてもうれしくなるはがきが届きました。内容は次のとおりです。

「突然のはがきを失礼いたします。三中の男子生徒たちがとてもうれしいことをしてくれたのでお知らせします。

野中の黒田簡易郵便局を過ぎて坂道を上がっていくと、市営住宅入口付近に横断歩道があります。その横断歩道を渡ろうとして、5、6人の男の子たちが、車が止まるのを待っていました。横断歩道を渡ろうとする人がいれば、止まるのは車を運転する人のルールなので、私も止まりました。男の子たちは横断歩道を渡り終えると、くると回り、全員、私に一礼をしてくれました。男の子たちはそのまままっすぐ歩いていったので、その近所の子供たちだったと思います。

1年前ぐらいにも、男の子が一人、私が止まったら一礼してくれました。

学校での教育もありますが、私の心の中では、**家庭が仲良くて、教育がしっかりしているか、武道の部活をやっている“礼に始まり礼に終わる”を守っているのかなど、いろいろ考えました。**

またあの道で、格好いい一礼のできる男の子たちに会えたらいいな～と思っております。そして、今のピュアな気持ち（心）をずっともって、**素敵な男性に育ってほしいと願います。**」

このような素敵な生徒がいることを教えてくださったはがきでした。

本校では**道徳の時間を要に、教育活動全体を通して豊かな心を育むよう努めています。**

これからも、このような**素敵で礼儀正しい生徒を育てていきたい**と思います。お知らせしてくださった方、本当にありがとうございました。



いのちを考える授業

— 命の尊さについて学びました —

11月28日、富士宮ライオンズクラブ様の御協力により、池間哲郎様を講師に招き「いのちを考える授業」を開催しました。池間様からは豊かで平和な暮らしができる素晴らしさと命の尊さを学びました。講演後の生徒の感想を紹介します。

1枚1枚の写真、1つ1つの言葉が胸に刺さりました。貧しい国のすさまじい実態を知り、自分たちが暮らしているこの地球上に、自分たちとはこんなに違う人々がいるのかと思うと不思議な気持ちになりました。講演の中で、「やりたいことをやるためには、やらなければいけないやりにくいことがある」という言葉が心に残りました。

今回、貴重な機会を作ってくださった池間様、富士宮ライオンズクラブの皆様、本当にありがとうございました。



命の尊さを説く池間様

地域の担い手として活躍

— 地域防災訓練が行われました —

12月2日、各地区で自主防災訓練が行われ、多くの三中生が参加しました。救命救急訓練、消火器を使った消火訓練、テント設営、炊き出し補助などの活動を通して、生徒たちは**地域の担い手として頼られているという実感**をもつことができました。

区長の皆様をはじめ、地域の多くの方にお世話になり、ありがとうございました。



星山2区の訓練の様子

三者面談のお知らせ

— 2学期の三者面談を開催します —

2学期のまとめとして、生徒個々の学校での生活や学習の様子、また冬休みの過ごし方などについて三者でお話をしたいと思います。また3年生は卒業後の進路についてもお話をしていきたいと考えています。年末を迎え、御多用中とは思いますが、御来校くださるようお願いいたします。

【面談日】

12月17日（月）～20日（木）

【時間帯】

13時45分～16時20分

